



和光の緑と湧き水だより会報 Verda220号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。

作成:高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

自然に親しみ、湧き水を守るボランティアに参加しましょう 会員募集中

2022年9月～2022年12月の主な予定表 (2022年8月発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森
2022 9月	お茶の水女子大地理学巡検 9月13日(火)	17日(土) 定期保全	10日(土) 9時～11時(富澤湧水フィールドワーク)、11時～コミセンで集会 14日(水) 大坂ふれあいの森保全
10月	日本地下水学会事業「湧水めぐり in 和光」 15日(予備22日) 中央公民館祭り23日出展	15日9時半～11時半 15日午後は和光市湧水めぐりです。	8日(土) 富澤湧水フィールドワーク 12日(水) 大坂ふれあいの森保全 両日湧水めぐりの準備
11月		19日(土) 定期保全	12日(土) 富澤湧水フィールドワーク 16日(水) 予定大坂ふれあいの森保全
12月	樹林公園きずなプロジェクト 予定12月11日	21日(土) 定期保全	10日(土) 富澤湧水フィールドワーク 21日(水) 予定大坂ふれあいの森保全

1. 2022年度の教員のための初任者研修施設体験研修会 7月29日 8時半集合

2022年度夏の研修会に本年も協力しました。講師は高橋勝緒さん。20名の若い先生方に和光の特徴的な“白子湧水群”を紹介し、その後「和光の自然」について講義をする、という企画です。

集合地の熊野神社では、担当の尾田先生の説明があり、会からは講師の勝緒氏他3名が参加、和光市の自然環境マップの紹介、その後神社をスタートし、東京都の境の白子川東埼橋へいき、都市部にある和光の位置を確認。川から数百mの所に緑のオアシスがありサワガニが棲息できる自然があること、大坂ふれあいの森では井戸による地下水面を観察、さらに古の川越街道を通り、代官屋敷、馬頭観音などの歴史にも触れ、新しいニホニウム通りから市役所まで案内しました。現地を実際に見ていただくこのような機会を得て、和光の湧水環境の大切さを先生方にお伝えし、学校で学ぶ子供達に伝えていただければと願っています。



東京都の境の白子川沿い



あふれる緑と湧き水“富澤湧水”



和光の自然についての講義

2. 白子の湧水緑地と白子宿の面影が残る佐和屋を残したい

8月3日には、柴崎市長はじめ、中蔦総務部長、寄口教育部長の方々に面会する機会が得られました。当会の活動で得た情報をお伝えし、佐和屋を残し、活用し、白子の活性化を目指した働きかけを話し合うことが出来ました。

いにしへの川越街道大坂通りにある佐和屋は、白子宿の面影を残し、和光市景観10選の一つに選ばれています。隣接する大坂ふれあいの森、熊野神社も景観10選に選ばれています。さらに2015年に富澤湧水が白子宿特別緑地保全地区に指定されました。隣接する佐和屋とともに湧水の源泉地となって白子湧水群を形成しています。このように、ここは緑と湧水の自然が残され、白子宿の歴史的な面影が残り、“自然と歴史の交差点”と言えるのではないのでしょうか。

今後に期待していきましょう。



川越街道脇大坂ふれあいの森 街道を隔て立派な「佐和屋」のたたずまいと緑が富澤湧水へと連なる

3. 大和リース(株)さいたま支店営業所より5名のボランティア参加

7月9日富澤湧水の定期保全日に、大和リース(株)さいたま支店様より、地域活動にボランティアとして5名の参加がありました。富澤湧水をご案内し、その後フィールドワークを一緒に行いました。

当会では会社からの参加は初めての経験でした。

湧水路、斜面林、台地上の森の3か所に分かれて、それぞれの環境整備など活動していただきました。暑い中皆さんご苦労様でした。

SDGsの中の一つのゴールである緑の保全に関して、このような形で体験会が行われていくことが出来れば頼もしい限りです。ご希望があればこれからもお引き受けしたいと思えます。



4. 2022 年度夏休み中学生ボランティア体験

今年も夏休みがやってきました。中学生ボランティア体験も恒例となりました。

8月17日 白子大坂ふれあいの森の会主催 5名参加

堀会長の説明で始まり、マップを使った和光の特徴を現地で解説し理解を深めてもらいました。その後道路の落ち葉掃きを体験。車の通行があり注意しながら実施。参加者からの感想では、落ち葉掃きの体験から環境への思いなどを聞くことができました。



森の斜面には「キツネノカミソリ」が見事に咲いていました。

8月18日の富澤湧水ボランティア体験は雨天のため、3名の中学生が変更し8月20日の新倉ふれあいの森に参加しました。

8月20日の新倉ふれあいの森には、7名参加しました。

新倉ふれあいの森の紹介後に、竹切体験と森の間伐体験の2班に分かれて実施。

高さ10メートルもの竹を、杉浦さんの指導の下、のこぎりで切り倒します。のこぎりを使うのは皆さん初めての体験です。さらに4か所切り、枝を落とし、ようやく竹の幹（みき）が出来ました。その後、各自竹細工作りを、楽しみながらの体験でした。

森の間伐体験では、大きな剪定ばさみを使った枝落しを体験しました。初めての道具使いを、ベテランの会員に見守られながら真剣に行っていました。

今後参加者から報告もあると思います。

このような体験を、もっと多くの中学生に勧められれば良いのではないかと思います。



大坂ふれあいの森の様子



新倉ふれあいの森の様子

北原小学校3年生の新倉ふれあいの森観察会が6月に行われました。

その時の自然に触れた体験をノートにまとめたものを、一冊にして会に送っていただきました。竹林の不思議や気づき、感じたことを基にした素敵な絵本のような感じです。

こんなに素敵な子供たちを育てている先生方に感謝です。

各フィールドの活動で集まったときに皆様にも見ていただきたいと思います。

5. これからの活動のお知らせ

和光樹林公園「ヒロハアマナの森」フィールドワーク

日程 2022年8月29日 8時半～10時頃

1. 小区画内オトギリソウの保護 (4m×3m 区画)
オトギリソウが区画内に生えてきました。ヒロハアマナと季節が異なるので、ここで保護保全します。
2. ヒロハアマナの森草刈り (はじめは鎌で木の周りの草刈り、その後電動草刈機を使用)
草刈りとして：タケニグサ、長葉の草、アカメガシワ幼樹など。
3. 樹木名調査と木の名札を作り「きずなプロジェクト」に参加
12月初旬に樹林公園“きずなプロジェクト”が開催され、当会も4団体の中の1団体として参加する予定です。「ヒロハアマナの森で木の名札付け」のイベントを考えています。



草刈



オトギリソウ小群落が出来て、保護が必要

日本地下水学会市民コミュニケーション委員会主催「湧水めぐり in 和光」10月15日
NPO 法人和光・緑と湧き水の会 後援

7月9日に学会の方々10名が和光市にお出でになり、高橋勝緒、絹世がご案内しました。和光市内の湧水地として、白子地域の大坂ふれあいの森、富澤湧水、熊野神社、湧水の流れが白子川に流れ込む所として白子橋、さらに滝坂の湧水、などを一通りご案内しました。これらを基に湧水めぐりのコースがほぼ決まりました。

集合：白子コミセン 13:30 コース説明 30分班分け、全体説明

湧水めぐり：14:15～16:20

富沢湧水、大坂ふれあいの森、白子の滝、擁壁の湧水、白子橋、小島家湧水、熊野神社解散

皆様ぜひこの企画「湧水めぐり in 和光」にご参加ください。新しい発見がきっとあると思います。当日は、高橋勝緒さんが、和光の自然について「自然環境マップ」を使ってご紹介する予定です。チラシが出来てきましたら配布します。

9月10日は富澤湧水のフィールドワーク (9時～11時) 雨の時は、11日 (日曜日)
活動後にコミセンに集まり交流会をします。森や石垣周辺には、樹木の枝が伸び放題です。剪定する予定です。多くの方の参加をお願いします。